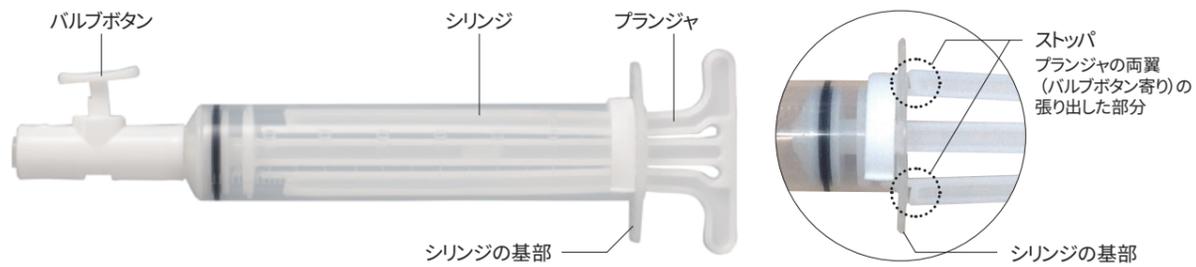
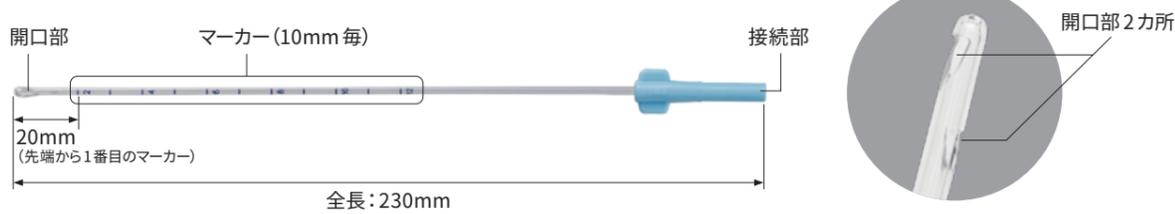


■ MVA SVS 3mmセットの構成部品と各部名称

- Single Valve アスピレーター [容量: 60cc]



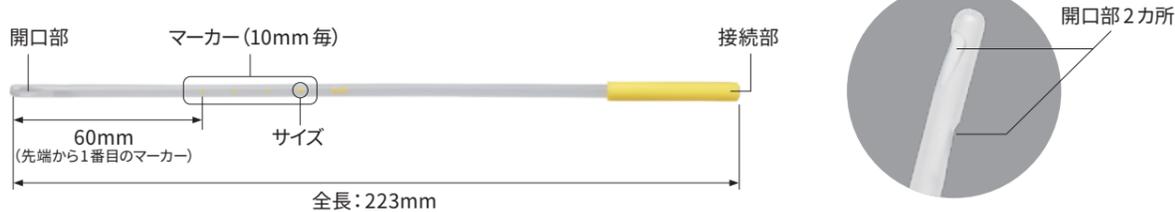
- MVA Biopsy カニューレ 3mm [コシのある硬めタイプ]



■ MVA SVS 4mmセットの構成部品と各部名称

- Single Valve アスピレーター [容量: 60cc]

- MVA Flex カニューレ 4mm [やわらかいフレキシブルタイプ]



	発注コード	セット名	セット内容		
			製品コード	製品名	最小販売単位 (※ 2023年4月改定)
Single Valve アスピレーター セット	MVA-SVS-SET-3	MVA SVS 3mm セット	SVS-S5-JP	Single Valve アスピレーター	5本 / 箱
			EB3-JP5	MVA Biopsy カニューレ 3mm	5本 / 袋
	MVA-SVS-SET-4	MVA SVS 4mm セット	SVS-S5-JP	Single Valve アスピレーター	5本 / 箱
			FC4-JP5	MVA Flex カニューレ 4mm	5本 / 袋

販売名: Women's MVA システム
 一般名: 吸引用子宮カテーテル/単回使用医療用拡張器
 医療機器認証番号: 227ADBZ00175000
 クラス分類: 管理医療機器

- ご使用の際は、電子添文をよくお読みの上、正しくお使いください
- アスピレーター単品やカニューレ単品では販売しておりません

Ipas MVA Technology

Ipas MVA 製品は 1970 年代に米国 Ipas 社によって開発されました。FDA 認可、CE マーク、ISO13485 等、規制当局の認可を取得し、40 年以上にわたり世界 100 以上国で使用されています。Women's MVA システムは Ipas MVA 製品です。



“Ipas” 刻印の例

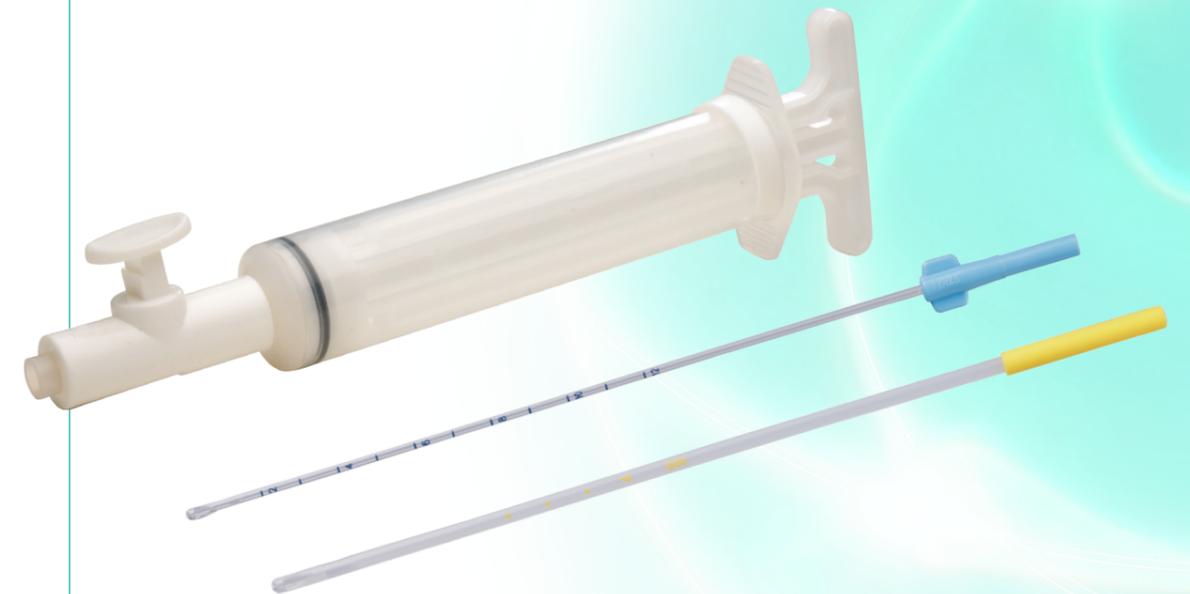
手動真空吸引法

Women's MVA システム

手動で真空状態を作り、子宮内容物・子宮内膜組織を吸引、除去又は採取します

子宮内膜組織採取セット

持続する陰圧(真空)で、連続的に組織を吸引・採取します
 カニューレは硬め 3mm 又はやわらかめ 4mm から選べます



- 妊娠週数や目的に応じてカニューレを選択できます
- 手元のシリンジで吸引した内容物・組織を視認できます
- 安全に配慮した滅菌済み単回使用製品
 清潔環境下での内容物・組織の採取を実現します
 患者様や医療スタッフの皆様の感染対策をします
- ラテックスフリー素材を採用
 ラテックスアレルギーの患者様にも使用できます
- 救急時、災害時にも対応できる手動吸引式

Ipas MVA Technology

製造販売業者



Women's Health Japan

ウィメンズヘルス・ジャパン株式会社
 〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-20-18 第8星塔ビル2F
 www.womenshealthjapan.com

【製品に関するお問合せTEL】 03-6240-9611

外国製造業者

WomanCare Global (米国)



WHJ-PC0017-EB/2025.01(3K)D-N

使用手順

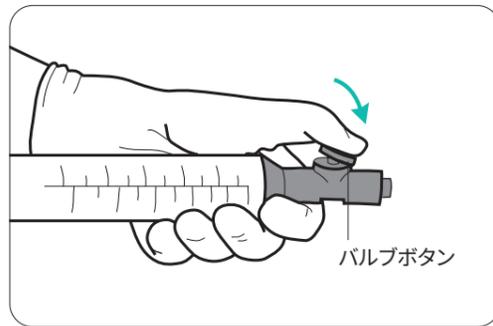
禁忌：妊娠している可能性のある人には使用不可

吸引器（アスピレータ）の準備

1 バルブボタンをロックします

アスピレータのバルブボタンを先端方向に押し下げてロックします

❗ しっかりとロックされたことを確認してください



2 真空状態を作ります

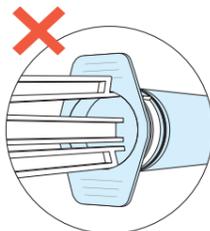
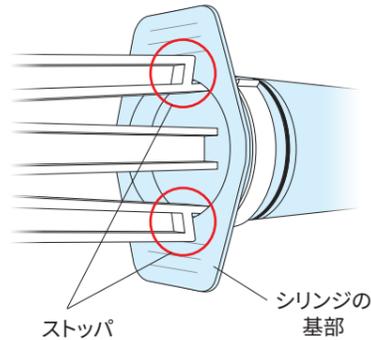
シリンジ部分をしっかり持ち、もう一方の手でプランジャを引き、アスピレータを真空状態にします。この時、ストップ*を完全に外筒から出して、左右に開かせます

*ストップ: プランジャの両翼（バルブボタン寄り）の張り出した部分

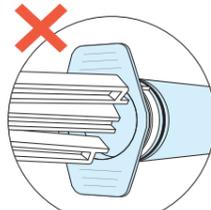


3 ストップ位置を確認します

ストップが完全に左右に開き、シリンジの基部にしっかりと乗り、プランジャが動かないことを確認してください



片方だけ



開きが不十分



真空にしたら
プランジャを触らない

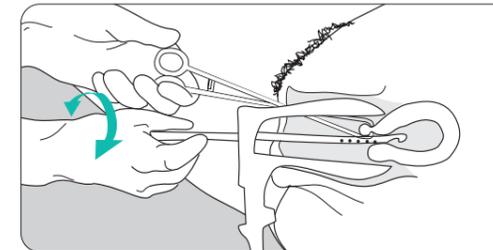
- ❗ ストップの開きが不十分。また、片方だけがシリンジの基部にかかっていると、不意の操作や衝撃でストップが閉じて、強い勢いでプランジャがシリンジ内に戻ります
- 一度アスピレータを真空にしたら、プランジャ部分を握ったり、閉じたりしないように細心の注意を払ってください

子宮内膜組織採取の手順

1 カニューレをゆっくり挿入します

子宮腔部鉗子で子宮頸部をゆるやかに牽引し、子宮頸管をまっすぐにします。次にカニューレをゆっくり挿入します

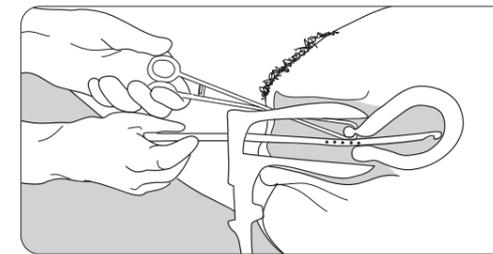
Point カニューレを軽く回しながら進めると挿入しやすくなります
※必要に応じて子宮頸管の拡張をします



2 カニューレを子宮底の手前に留置します

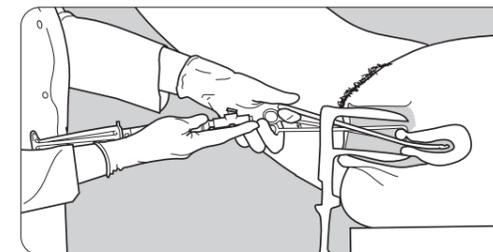
カニューレを慎重に進め、先端が子宮底に軽く触れたら、カニューレをわずかに引き戻し、留置します

Point 挿入の深さをカニューレ上のマーカで確認できます
※マーカ位置は製品詳細頁参照



3 アスピレータをカニューレに取り付けます

カニューレの端を保持しながら、もう片方の手で陰圧（真空）にしたアスピレータを持ち、カニューレにしっかり取り付けます

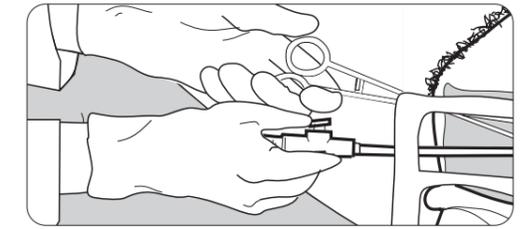


❗ この時カニューレが強く押されて子宮穿孔が起きないように注意してください

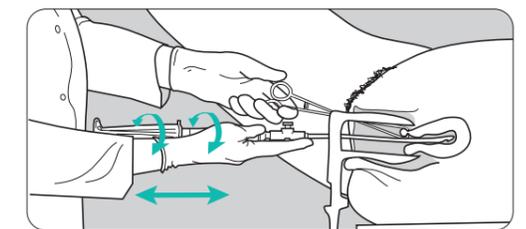
※アスピレータをカニューレに接続した状態で挿入する方法もあります

4 圧を開放（リリース）し、吸引します

バルブボタンを手元側に押し戻し、ロックを解除します。圧が開放され、吸引が始まり、血液、組織、泡が流れ始めます



5 子宮内膜組織を吸引・採取します

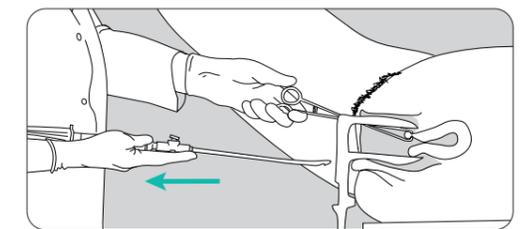


組織採取時は、カニューレが内子宮口を越えないように留意し、子宮腔内でアスピレータを回転させながらカニューレを静かにゆっくり前後に動かして吸引します

- ❗ 内子宮口を越えると圧が抜けます
- 誤ってシリンジ内にプランジャが戻らないように吸引操作中はプランジャ部分に触らないでください

6 カニューレを抜去し、シリンジを空にします

必要量を採取したらアスピレータごとカニューレを抜去します。カニューレを外しプランジャを押し込んでシリンジ内の採取した組織を検体容器等に排出してください。カニューレやシリンジに組織が残っている場合は、固定剤等を吸い込み、再度検体容器に排出します



❗ 固定剤に触れたカニューレは子宮内に戻さないでください

※採取量に応じて吸引が数回必要な場合は、再度吸引を行い必要量を採取します
※施設の手順に沿って検体を取扱ってください

- ❗ 使用前に吸引圧が生成できることを確認してください
- 吸引圧が弱いと感じた場合は別の製品をご使用ください

確認手順

本手順でアスピレータを準備したら、アスピレータのバルブボタンを基部側（手元側）に押し戻し、ロックを解除します（圧の開放）。吸引圧が生成されている場合は、圧を開放した際、外筒内への空気の流入音（「ポツ」という音）が聞こえます。確認後、プランジャを戻し、再度アスピレータを準備してから吸引操作を行ってください